

2026年4月13日

月島 JFE アクアソリューション株式会社
月島ジェイテクノメンテサービス株式会社

ネットゼロへの挑戦

千葉市南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業 運営開始のお知らせ

月島 JFE アクアソリューション株式会社（以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太）グループは、ネットゼロ社会の実現に挑戦しています。

TJAS を代表企業とする特別目的会社 株式会社バイオコール千葉南部を設立し、2023年3月に千葉市と「千葉市南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業」（以下「本事業」）に関する事業契約を締結しました。

その後、下水汚泥固形燃料化施設の運営の準備を進めてまいりましたが、このたび同施設（5号燃料化施設）が完成し4月より運営を開始しましたのでお知らせいたします。

本事業は、老朽化した千葉市南部浄化センター汚泥焼却施設の更新に合わせて燃料化施設を整備し、製造する固形燃料化物が石炭代替燃料として有効利用されることで、下水汚泥の有効利用の促進および温室効果ガス排出量、事業費の削減を目的としています。

事業方式は、ライフサイクルコストの最適化による事業費削減と長期間の固形燃料化物有効利用先を確保し、民間事業者の経営能力及び技術的能力を活用して事業を効率的かつ効果的に行う観点から、設計・建設業務と運営・維持管理業務を一括して発注する DBO（Design:設計、Build:施工、Operate:運営）方式にて実施するものです。

今後は、5号燃料化施設の稼働に伴い、株式会社バイオコール千葉南部が2026年4月から2049年3月まで運営・維持管理および固形燃料化物の買い取りを行います。また、既設1・2号焼却施設の撤去を行い、6号燃料化施設の建設工事に着手します。

TJAS グループは、下水汚泥を再生可能エネルギーに転換し有効利用する汚泥燃料化事業を通じて、地球温暖化防止と脱炭素社会の実現にむけて貢献してまいります。



設備全景写真

千葉市南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業の概要

1. 事業概要

- (1) 事業名称：千葉市南部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業
- (2) 事業場所：千葉市南部浄化センター（千葉市中央区村田町 893 番地内）
- (3) 事業内容：設計・建設 燃料化施設(60t/日/炉×2 炉)の設計、工事、試運転等
※5号燃料化施設、6号燃料化施設の2炉
運営・維持管理 施設の設備保守管理業務、修繕工事など
固形燃料化物の有効利用
- (4) 事業期間：運営・維持管理期間
5号燃料化施設 2026年4月～2046年3月（20年間）
（設計建設 2023年3月～2026年3月）
6号燃料化施設 2029年4月～2049年3月（20年間）
（設計建設 2026年4月～2029年3月）

※ 5号燃料化施設稼働後、既設1・2号焼却施設の撤去を行い、
6号燃料化施設は2026年4月以降に建設工事に着手する。

2. 施設概要

- (1) 処理方式 低温炭化方式（300～400℃）
- (2) 施設能力 脱水汚泥 60wet-t/日×2 炉
- (3) 計画処理量 37,000 wet-t/年（2炉併用時）
- (4) 受注者 設計・建設 月島 JFE アクアソリューション株式会社
維持管理 株式会社バイオコール千葉南部

3. 株式会社バイオコール千葉南部の構成員と主な役割

代表企業：月島 JFE アクアソリューション株式会社（燃料化施設の設計建設、マネジメント）

構成員：月島ジェイテクノメンテサービズ株式会社（運営・維持管理業務）

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島 JFE アクアソリューション株式会社 営業本部 営業企画部
03-5560-6530

月島ジェイテクノメンテサービズ株式会社 営業本部 営業推進部
TEL 03-5245-7150

以上